

## 長寿のひけつ



### 「お嫁さんの手料理」が健康 長寿のひけつです

阿部つるるさん(雄勝町大須) 100歳

今回は、7月で満100歳を迎えた阿部つるるさんを紹介いたします。

つるるさんは、明治39年生まれで、7月26日に満100歳の誕生日を迎えたばかりです。耳が遠いので、血圧が高いほかは、とても健康で元気なおばあちゃんです。

18歳で大須に嫁ぎ、10人の子宝に恵まれ、子育てをする傍ら漁業を営む夫を支えてきました。また、海を採りや仙台方面への行商を行うなど、72歳まで家計を助けました。

今はお孫さん夫妻との3人暮らしで、毎日お嫁さんの手料理を感謝して食べています。つるるさんは、インスタント食品やソフト食品などはまったく食べず、昔からお嫁さんの手料理を好んで食べています。普段はお裁縫をしたり、尋ねてくるお客さんとお茶飲みをしたりして過ごしています。お裁縫をするときには自分で針糸を通すそうです。すごいですね！そんなつるるさんの楽しみは、どんなものを縫おうかと考えているときと、畑に植えた野菜の成長を眺めているときだそうです。

そういつ日常の何気ない行動の二つ二つが、つるるさんの健康



のひけつなのかもしれませんね。この日はちょうど、市から100歳のお祝いを受け取る日でした。つるるさんは終始恐縮し、なんどもお辞儀をする、とても謙虚なおばあちゃんでした。つるるさん、これからも健康で長生きしてくださいね！



### 『島に移り住んで10年』

白岩 準司さん  
洋子さん(ご夫妻(網地浜網地))

今回は、網地島の網地浜地区にご夫妻で移住され、すっかり網地島人となった白岩準司さん・洋子さんをご紹介します。

白岩ご夫妻は、今年で結婚されて49年目を迎えます。お二人が出会ったのは、昭和30年に、準司さんが早稲田大学を卒業し、教員として赴任した長崎県立対馬高等学校でした。当時、洋子さんが高校3年生として勉学に励んでいたそうです。

結婚後、対馬を離れ、準司さんの生まれ故郷である東京都品川で、家業であった断熱加工業に携わり、仕事の引退を契機に、『島から見る夕陽』に一目ぼれして網地島への移住を決めたそうです。

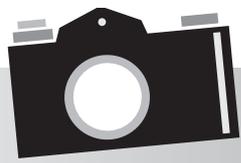
お二人は網地島人になって、今年でちょうど10年、現在では、網地島に無くてはならない存在になっています。準司さんは、洋子さんからサポートを受けながら、島の自治組織の事務局長や網地浜地区の住民有志で組織する「あじ朗志組」の一員として、ホームページの管理、島



に来てから取得した宅地建物取引主任者の資格を生かして、移住希望者などに空き家の紹介などをし、網地島の振興のためにパフルに活動しています。

あじ朗志組ホームページ

<http://plazarakuten.co.jp/ajiroushi>



# カメラトピックス

## 石巻



### ● ナイスショット!?

8月9日(水)、水沼野営場にて、石巻中央公民館主催の夏休みキッズ・デイキャンプが開催され、子ども達はグランドゴルフなどを楽しみました。

## 牡鹿



### ● 捕鯨・鯨食文化の伝承

8月3日(水)、「牡鹿鯨まつり」(実行委員会主催)が鮎川港周辺で開催され、多くの家族連れで賑わいました。子ども達は、捕鯨ショーや打ち上げ花火などに目がくぎ付けになっていました。

## 桃生



### ● 物語をやさしく ・楽しく子どもたちに

8月4日(金)、ボランティアサークル「お月とお星の会」が、絵本の読み聞かせなどを行う「えほんとおはなしの会」を行いました。夏休み中の子ども達7人が参加し、桃生地区の万才山に関する昔話や絵本の読み聞かせなどに、子ども達は目を輝かせながら、静かに耳を傾けていました。

## 北上



### ● 楽しい夕涼み会

7月19日(水)、橋浦保育所で「夕涼み会」が行われました。

かわいいゆかた姿の子ども達は、金魚すくいや踊りを楽しんでいました。